YONEMORI TIMES
Vol.85 2024.9.10 発行



鉄構部 鉄構5課

近藤 涼

2014年に株式会社ヨネモリへ新卒入社した近藤涼。これまで大半の業務を経験し、オールマイティーに業務をこなせる人材として、周囲からも頼りにされることが多い。最も記憶に残っている出来事などを聞きながら、近藤の仕事に対する思いに迫る。

子どもの頃の夢を思い出して

高等専門学校に通っていた頃、新入社員を募集している企業の1つにヨネモリの名前があった。将来は何をしたいのかという明確な目標は定まっていなかったが、ヨネモリの求人が目に留まったとき、幼い頃の夢が大工だったことをふと思い出したのだ。「建設業界なら面白そうだな」と考えて、さっそく応募。社会人としてのスタートを切ったのである。

入社後に驚いたのは、すぐに図面の作成を任されたこと。学校で見ていたものよりも、はるかに難解な図面だった。最初は戸惑ったが、次第に平面の図面が頭の中で立体化できるようになっていった。

「おそらく、脳内で3DのCADのような作業を行っているのだと思います。訓練したわけではありませんが、働く中で自然と身につきました」。

形として残り続ける仕事

これまで数多くの現場を経験したが、中でも印象に残っているのは、入社から3年ほどが経った頃に担当した150角ほどの柱に長いブラケットを取りつける業務だ。最終的にガラス張りの部分に取りつけるため、機能はもちろん、見た目や精度も求められる。溶接したあとの変形も考慮し、綿密に計算しながら作業を進めたところ、問題なく無事に完成したのである。そのときの安堵感や達成感は、今も忘れられない。

こうした成功体験をもとに、取り合いや精度の部分は厳しくチェックするようになった。自分が心血を注いだパーツの一つひとつが、巨大な建造物を支えている。そして、人々に活用される姿を確認できるのは、この仕事ならではの醍醐味だという。

ミスに気づくアンテナを張る

一方、難しさを感じるのは、物件ごとにルールが異なる点。複数の物件を同時に担当していると、つい混同してミスを犯してしまうこともある。溶接した後でもパーツを外せるが、再利用できずにつくり直しになるケースが多い。しかも、間違えたまま工程を進めてしまうと、大幅なタイムロスになる上に周囲に迷惑をかけてしまう。なるべく早い段階で、その誤りに気づけるような工夫が必要だ。

近藤は、製作後に再度図面を確認するルーティンを組み込んでいる。また場数を踏むと、「ここに取りつけたら干渉してしまうのではないか」といった違和感にも気づけるようになるという。製作後に修正工程を極力発生させないよう、常にアンテナを高く張りながら業務にあたっているのである。



円滑に業務を進めるために

もう1つ意識しているのが、コミュニケーションだ。図面に不明点があれば設計部に質問したり、部品を取りつけるときには溶接担当に事前確認したりと、近藤が担う組立ては他部署の協力が欠かせない。気をつけているのは、あらかじめ自分の中で疑問点をはっきりさせておくこと。逐一質問していては相手の負担を増やし、仕事にも影響を及ぼしてしまう。

「まずは自分で調べて、『ここは聞いておいた方がいいな』と感じる部分のみピックアップしています。また、質問した後に『何かあったらまた来ます』と一言添えておくことで、その後も尋ねやすい雰囲気をつくっています」。

仕事に誇りを持つ個性的なメンバーに囲まれ、日々楽しくコミュニケーションを図っている。

趣味も仕事も全力で

近藤は仕事とプライベートの両立を重視している。プライベートを充実させるためには、無駄な残業を発生させないよう効率を考えながら仕事をすることが重要だ。日々のタスクを時間内に終わらせるため、常にゴールから逆算して取り組んでいる。

「働くモチベーションを保つためにも、趣味の時間を確保することは必要です。これからも効率的に業務をこなせるよう、スキル向上を目指していきます」。

一つひとつの作業に心血を注ぎ、自身の成長とプライベートの充実を両立させている近藤。さらなる高みを目指して全力で仕事に励む姿から、この先も目が離せない。



企業情報

- ◆創 業 年：1918年5月（大正7年）
- ◆設 立 年：1968年5月（昭和43年）
- ◆年　　商：7041百万円（令和6年3月）
- ◆従業員数：114名（令和6年3月）



Message

組立て作業やロボット作業など、いろいろな技を極めてください。

鉄構部 鉄構５課 主任
池村（いけむら） 晃（あきら）さん

近藤さんを一言で表すと?

早口で声が高い(笑)

思い出のエピソード

入社時から楽しく働いているイメージがあります。初めて仕事を教えたのは自分だと思いますが、その頃からかなり成長したのではないでしょうか!

尊敬できるところ

誰よりも安全作業を心がけているところです。

近藤さんへのメッセージ

近藤涼さんの魅力について、近くで見てきたお二人だからこそ語ることができるエピソードがここに!応援の気持ちが伝わる、素敵なメッセージをお届けします!

Message

同期として入社し、スタートは同じでした。そこから違う部署で働いて得た知識はさまざまです。わからないことはお互いに教えたり学んだりして、会社と社会に貢献していきましょう!



鉄構部 鉄構４課
酒井（さかい） 泉貴（みずき）さん

近藤さんを一言で表すと?

一直線

仕事も趣味も、好きなことに夢中になっている印象を受けます!素直に羨ましく思います。

思い出のエピソード

仕事の悩みを聞いたり話したりすることがあります。同期だからこそ遠慮なく話すことができますし、笑い話に変えることもできます(笑)

尊敬できるところ

与えられた知識をすぐ反映できる器用さと、頭の回転の速さです。

BBQ in 本社工場

毎年恒例、2024年もＢＢＱを開催いたしました。その様子をお届けします!

開催日時
7月20日(土)
17:30~





今年は参加者100名を超える大・ＢＢＱとなりました。取引先の皆様、溶接工の皆様にもご参加いただき、また、お子さんも含めたご家族の参加数も大きく増え、大変にぎやかで楽しい時間を過ごしました。
なかなかの大所帯になりつつありますが、また一緒に楽しめる行事を企画していきますので、今後もぜひご参加ください。
準備や片付けにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



吉村さんの成長記録

今回は入社半年後に資格試験に挑戦し、さまざまな資格を取得して技術を磨き続ける吉村さんが登場!その努力を見守る上司の坂田さんにもお話を伺い、吉村さんの成長の軌跡に迫ります!



鉄構部 鉄構３課
吉村（よしむら） 考志朗（こうしろう）さん

業務内容

柱などの鉄骨の溶接を担当。

成長したと思うところ

ＪＩＳ溶接技能者評価試験の資格をいくつか取得したため、入社社当初と比べて技術は向上したと思います。電気の強さや手を動かす早さなど、上司の方や先輩にもアドバイスをいただき、実技の練習を重ねました。その分、成長したのではないかと感じています!

成長するために意識していたこと

指摘されたこと、言われたことは素直に聞いて、仕事に取り組むことを意識していました。まだ色々な種類の資格があるため、今後はそれらを1つずつ取得して技術を磨き、さらに成長していきたいと思っています。

坂田さんに感謝していること

入社当初から溶接のやり方をはじめ、ほぼ全てを坂田さんに教えていただきました。何から何までお世話になったと思います。資格取得の際もアドバイスをいただき、大変感謝しています。

一緒に働く皆さんへメッセージ

わからないことを質問した際にすぐ答えてくれ、手伝ってくださるなど、いつもサポートしていただきありがとうございます。私も皆さんのように、後輩から何か聞かれたときには答えられるよう、頑張りたいと思います。

指導していて感じた吉村さんの良いところ

途中で投げ出すことなく、頼まれたことは完遂する

入社当初、作業２日目に溶接をお願いしたのですが、ダメな部分は修正して、溶接に向き合っていた姿をよく覚えています。溶接は難しく、まだ技術が足りなかったこともあって苦戦していましたが、**最後まで逃げ出さずやり切ってくれました。**

吉村さんに期待すること

まだまだ伸びしろがたくさんあるため、色々なことに挑戦をして、さらなる成長を遂げることを期待しています。**好奇心を持って仕事をすると技術がもっとアップするため、好奇心を大切にしてほしいと思います。**

ワンポイントアドバイス!

同じ作業を繰り返すだけではなく、より良い方法を探りながら行動すると、さらにレベルアップすることができます。上司に相談するなど、周囲と積極的にコミュニケーションを取ってくれたら嬉しく思います。



鉄構部 鉄構３課
坂田（さかた） 龍哉（りゅうや）さん